



深沢アート研究所
「せんたくばさみ 3000 個の時間」
六本木アートナイト 2012
@東京ミッドタウン 2012/3

DESIGN BY 大淵三沙子 (広報部)

各学校長・園長様
造形・図画工作・美術科担当様
デザイン・美術関係者様

造形教育センター委員長 川合克彦
研究部長 大泉義一



第 59 回 造形教育センター 夏の研究大会 60 周年記念プレ大会 in 鎌倉 (2 次案内)

子どものデザインからみえてくるもの

今、「デザイン」という言葉は、かつての産業主義的な意味合いから本来的・本質的な意味へと変容し、私たちの〈いま〉そして〈これから〉を照らしているように見えます。

そのような中で、私たちは「子どものデザイン」を次のようにとらえています。「子どものデザイン」とは、子どもの見方、感じ方から私たちおとなが学ぶための概念であるということ、そして、かつては子どもだった私たちおとなが、子どもの見方、感じ方から世界のあり様をとらえ直す機会でもあるということです。

したがって「子どものデザインからみえてくるもの」を探究することで、これからの造形教育のあり方、ひいては子どもと世界のつながりを大切にする教育のあり方を展望することができのではないのでしょうか。

鎌倉の地で開催されるこの大会を通して、その実践のあり方をみなさんと一緒に考えていけたらと願っています。

◇ 後援 ◇

神奈川県教育委員会

◇ 参加費 ◇

会員：4000円 一般：5000円 学生：2000円
懇親会も予定しています。(当日受付にてお申込み、お支払い下さい)

◇ 宿泊について ◇

*ご宿泊のためのホテル等の予約は行なっておりません。宿泊の予約などは参加者ご本人でお願い致します。*ただし下記造形教育センターホームページで、近隣の宿泊情報について紹介しています。ご覧ください。

◇ お申し込み・お問い合わせ先 ◇

*お問い合わせは、造形教育センター事務局長 山田猛宛に下記のメールでお願いします。

E-mail : takeshiy@u-gakugei.ac.jp

*お申し込みは、申込書をHPより入手していただき、必要事項をご記入の上、郵送またはFAXにて下記へお申し込み下さい。

〒112-0002 東京都文京区小石川 4-2-1 東京学芸大学附属竹早中学校美術科

造形教育センター 事務局長 山田猛

FAX 03-3816-8605 TEL 03-3816-8603

*その他、最新の情報は、造形教育センター公式HP、またはフェイスブック(下記アドレスまたは『造形教育センター』で検索)をご覧ください。

ホームページ URL : <http://zokeikyoku.sakura.ne.jp/index.html>

フェイスブック URL : <https://ja-jp.facebook.com/zokeikyokucenter?ref=stream>

◇ 会期 ◇ 2014年 8月2日(土) 8月3日(日)

◇ 会場 ◇ 横浜国立大学教育人間科学部附属鎌倉小学校

住所 : 〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下 3-5-10

HP URL : <http://www.kamakurasho.ynu.ac.jp/>

◇ 交通案内 ◇

J R横須賀線、江ノ電 鎌倉駅下車

【徒歩の場合】 J R横須賀線 鎌倉駅東口

徒歩 約 15 分

【バスの場合】 J R横須賀線 鎌倉駅東口 バス 約 5 分

※鎌倉駅東口バス乗り場案内

4 番のりば「鎌 20 大塔宮 行」

5 番のりば「鎌 23 鎌倉霊園 行」

5 番のりば「鎌 24 金沢八景 行」

5 番のりば「鎌 36 ハイランド 行」

いずれも「大学前」バス停下車 徒歩 1 分

いざ
鎌倉。

map



11の充実したプログラム

大会日程

7

からだほぐしワークショップ

清々しい鎌倉の朝の空気の中で、心とからだをリラックスさせることから始めましょう。
ファシリテーター 秋山朋也（成城学園初等学校・事業部）

8

実践研究発表③（岡山支部）

「作品のよさを感じ取りながら見方や考え方を広げる鑑賞活動」
岡山県で活躍する作家の作品を鑑賞し、作家本人と出会う機会、子ども達が自らも表現していくことで作品のよさや作家のテーマ性をより深く感じ取っていく。鑑賞→表現→鑑賞の流れの中から、子ども達の意見を紹介したい。（小学校6年生の実践）
高橋美理子（岡山大学教育学部附属小学校）

第1日目 8月2日（土）

第2日目 8月3日（日）

1

実践研究発表①（静岡支部）

「今後の美術教師の状況を踏まえた美術教育の題材開発について～沼津市立静浦小中一貫校のシラバス作成の経験に基づいて～」
昨今の美術教育研究は様々な面で高い可能性を感じますが、今後の状況を考え、地域的なスキルアップの視点も持つ必要性を感じています。そこで私のシラバス作成の経験に基づき、題材開発と実践による可能性を考察したいと思います。
奥村裕喜（静岡県沼津市立金岡中学校）

2

実践研究発表②（岩手支部）

「イーハートブがはぐくむもの～子どもと授業のデザイン～」
造形教育そのものの必要性を、子どもの学びの姿で示そうと、私たちは授業を構成し実践してきました。その中で、人と人とのつながりも増え、児童の成長も目撃できました。新たな課題で私たちは子どもとともに授業をデザインします。
青木久美（岩手県栗石町立西根小学校）

3

講演「子どもとデザイン教育」

「子どもとデザイン教育」というテーマで、氏の幅広い見地からご講演いただきます。



佐野寛氏（クリエイティブ・ディレクター）
コーワのカエルの生みの親。60年代よりパッケージからCMまで幅広く企画制作を行い、我々のデザインを牽引してきた。その後、東京学芸大学教授を10年間、目黒大学教授を5年間務め、デザインを通じた教育のあり方を提唱してきた。1989年度Gマーク総合審査委員長。現、日本デザイン機構理事。近著「現代広告の読み方」（文春新書）、「メディア写真論」（パルコ舎）、「21世紀の生活」（三五堂）他多数。

4

鎌倉の子どもとおとなたちによる造形ワークショップ

「子ども×おとなでつくりだされるもの」
かつて子どもだった私たちおとなは、子どものしていることから何を学ぶことができるでしょうか？ また子どもとおとなとはどのような世界をみることができるのでしょうか？ 鎌倉の子どもたちと保護者のみなさん、参加者のみなさんと一緒に造形ワークショップを楽しみ、そこでつくりだされるものをみてみたいと思います。

山添 Joseph 勇氏（深沢アート研究所・美術家）
山添 Joseph 勇とカブによって、2003年にアートユニットとして設立。そのアートユニットの活動は、身近な素材や事柄をテーマにした美術作品の制作と平行して、1998年から子どもと造形のアイデア制作やワークショップの企画・実施に取り組んでいる。
（深沢アート研究所ホームページ：http://www.hukalebo.com）

5

グループ・ディスカッション

「子どものデザインからみえてきたもの」
発表や講演、そしてワークショップの子ども×おとなの姿からみえてきたものについて、グループ別に質問・意見・感想を出し合いつつ意見交換を行います。

6

リフレクション（記念撮影）

5のグループ・ディスカッションで出された「子どものデザインからみえてきたもの」を全体で共有し、第2日目の議論につなげます。

10:00

会員受付

10:30

一般受付

11:00

開会・委員長挨拶

11:10

研究部提案

大泉義一（横浜国立大学、研究部長）

11:30

1 実践研究発表①（静岡支部）

「今後の美術教師の状況を踏まえた美術教育の題材開発について～沼津市立静浦小中一貫校のシラバス作成の経験に基づいて～」
奥村裕喜（静岡県沼津市立金岡中学校）

12:00

昼食（会員総会）

13:00

実践研究発表②（岩手支部）

「イーハートブがはぐくむもの～子どもと授業のデザイン～」
青木久美（岩手県栗石町立西根小学校）

13:45

3 講演「子どもとデザイン教育」

「子どもとデザイン教育」
佐野寛氏（クリエイティブ・ディレクター）

15:00

4 鎌倉の子どもとおとなたちによる造形ワークショップ

「子ども×おとなでつくりだされるもの」
山添 Joseph 勇氏（深沢アート研究所・美術家）

16:45

5 グループ・ディスカッション

「子どものデザインからみえてきたもの」

17:15

6 リフレクション明日につなげて（インドネシア民族美術の紹介）（記念撮影）

移動
懇親会（鎌倉わかみや）

◇懇親会について◇
※由比ヶ浜の海が見える会場での懇親会も是非ご参加ください。（受付時にお申込みください）
※鎌倉わかみや 19:00～21:00（受付 18:30～）
和洋食ブッフェ（食べ飲み放題）6000円
〒248-0014 神奈川県鎌倉市由比ヶ浜 4-6-13
0467-25-4321 http://www.kamakurawakamiya.jp/
※移動については当日ご案内いたします。

9:00

受付

9:15

7 からだほぐしワークショップ

ファシリテーター
秋山朋也（成城学園初等学校・事業部）

9:30

8 実践研究発表③（岡山支部）

高橋美理子（岡山大学教育学部附属小学校）
「作品のよさを感じ取りながら見方や考え方を広げる鑑賞活動」

10:15

9 インドネシアの造形・教育紹介

アンダン・イスカンダール氏（国立インドネシア芸術専門大学バンドゥン校ファインアート学科講師）
「子どものためのデザイン - インドネシア編 -」

10:45

10 パネルディスカッション

「グローカリズムと子どものデザイン」
パネラー
ハジール・エエン・ハルディアニ氏（国立インドネシア芸術専門大学バンドゥン校学長）

水田泉氏

（マラナタキリスト教大学講師）

神谷哲郎氏

（ペーパーソンキッズアンドユース代表）

コーディネーター

山田猛

（東京学芸大学附属竹早中学校、
交際交流委員長、事務局長）

指定質問者

大泉義一（横浜国立大学、研究部長）

12:00

11 リフレクション

12:30

閉会



インドネシアの造形教育

9

インドネシアの造形・教育紹介

「子どものためのデザイン - インドネシア編 -」

インドネシアの概観、STSI（バンドゥン大学）について、ジャワ島の美術文化紹介を質問形式でパワーポイントで紹介いたします。



Andan Iskandar (Andan Iskandar氏) 部分

アンダン・イスカンダール氏（国立インドネシア芸術専門大学バンドゥン校ファインアート学科講師）
バンドゥン出身。バンドゥン教育大学美術学科を卒業後、バンドゥン工科大学院プログラムデザイン学科に所属。その後（ジャジャラン大学アジア文化研究所）で博士課程に所属。現在は多数の大学で写真の講師を務め、インドネシアで有望な現代美術の作家の一人である。バンドゥンとジャカルタにハーモニカ・アトスペースという写真スタジオを所有し、ジャカルタティーンマガジン「ディハ」などの雑誌の写真アートディレクターも兼任している。

10

パネルディスカッション

「グローカリズムと子どものデザイン」

ますます進展しつつある「グローバル」社会、一方で子どもたちが日々生きるのは「ローカル」な社会です。これら2つの世界のあり様を切り結ぶ「グローカル」な見方・考え方が「子どものデザイン」なのではないでしょうか。このことについて、「グローカル」なパネラーの議論から考えてみたいと思います。

○パネラー

ハジール・エエン・ハルディアニ氏

（国立インドネシア芸術専門大学バンドゥン校学長）

西ジャワのチアミス出身。現在、国立インドネシア芸術専門大学バンドゥン校学長。インドネシア・ダンス・アカデミー（バンドゥン校（ASTI）を経て、国立インドネシア芸術大学スラカルタ校の舞踊学科を卒業。その後国立ジャジャラン大学大学院で舞踊美術を専攻。国立（ジャジャラン）大学文学部に芸術学の博士号を取得。専門は、スダン舞踊、美術史、芸術学。国内では、西ジャワの文化を主題とするセミナー、ワークショップを多数主催。海外へは、マレーシア、オーストラリア、ボスニア、カザフスタン、マダガスカルを訪れ、インドネシア代表の芸術大使を務めている。

水田泉氏（国立インドネシア芸術専門大学バンドゥン校ファインアート学科講師、インドネシアマラナタキリスト教大学芸術デザイン学部客員講師）

上記大学で教職をとりながら、インドネシア美術のキュレーションを行っている。ギャラリー・明日夢（世田谷区経堂）の代表。日本とインドネシアにおいて、2回間の大学生の展覧会の実施、インドネシアの現代アーティストを紹介する展覧会を日本で行っている。学術の専門は美術教育、アジア地域研究（アジア近代美術）、比較文化。美術の専門は、現代陶芸、現代ジュエリー、現代ガラス。

神谷哲郎氏（ペーパーソンキッズアンドユース代表）

東京学芸大学教育学部美術専攻卒。国連・JICAで23年間、現場プロジェクトのマネージメントに従事（美術との関わり）。青年海外協力隊としてヨルダンの子ども文化センターで活動。パレスチナ（ガザ）で「憎しみの壁面から夢と希望の壁面プロジェクト」を立案。若手アーティストへの指導を行う。エジプトでは、情操教育普及を目的とした美術から学ぶ保育改善プロジェクトを取り組む。ライフワークとして世界各国で劇団を主宰し、孤児院やストリートチルドレン施設などでの公演を続ける。（ヨルダン、タンザニア、ガザ、エジプト、フィリピン）

○コーディネーター

山田猛（東京学芸大学附属竹早中学校、交際交流委員長、事務局長）

○指定質問者

大泉義一（横浜国立大学、研究部長）

11

リフレクション

発表やパネルディスカッションで得られた知見、または抱いた問いを全体で共有し、明日からの教育実践に向けた展望について考えあいましょう。